

備前市事務事業評価表

事務事業名	つどいの広場運営事業		コード	02-01-01-09	担当課係	福祉事務所子育て支援係
事業実施期間	平成17年～		担当者	周藤和美		
総合計画事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	電話	64-1853		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり				
	小項目	子育て支援				
	施策	ふれあいの拠点づくり				

事業について	
目的	子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備する。
対象（誰のために）	主に乳幼児と保護者
内容	子育て親子の交流及び集いの場の提供、子育てに関する相談及び援助の実施、地域の子育て支援関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習を実施する。

事業の結果										
実施項目		17年度								
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)			
延利用人数		7,440 人								
実施か所数		1 か所								
事業費		事業費		財源		事業費		財源		
(単位：千円)		直接事業費	1,965	国庫補助金等	605	直接事業費		国庫補助金等		
		人件費	1,950	受給者負担		人件費		受給者負担		
				市債				市債		
		合計	3,915	一般財源等	3,310	合計	0	一般財源等	0	
必要人員		0.30 人								
結果指標名		利用延人数								
結果指標量		7,440								
単位		人								
対前年比		—			0.00%					
事業費		3,915,000 円								
単位当たりコスト①		526 円								
結果指標名		実施か所数								
結果指標量		1								
単位		か所								
対前年比		—			0.00%					
事業費		3,915,000 円								
単位当たりコスト②		3,915,000 円								

事業の成果			
成果指標名	利用延人数	式又は説明	延利用人数
成果指標量	7440人		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値	12,000人	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：児童福祉法、備前市つどいの広場事業実施要綱	課題認識 少子化や地域のつながりが希薄化する中で、子育て親子が身近な場所で気軽に集まれる場や情報の提供に関するニーズが高まっており、より身近な場所で実施できるよう開設場所の増設が求められている。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	現在、地域のボランティアと子育て中のお母さんとの交流事業などを実施しているが、今後とも子育てサポーターの人材育成を図り、ボランティアの協力をいただくなど民間活力を活用した事業の充実が必要である。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	今後、市民ニーズを聴取しながら、事業の充実について検討する必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

総合評価		評価区分
コメント	子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備することは、本市の重要施策の一つであり、次世代育成支援行動計画に沿って今後とも事業の充実や実施場所の拡充を図る必要がある。また、事業を適切に実施できるNPO等があれば、委託も視野に入れて検討する必要がある。	<A~E> B

今後の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	8,000人	結果指標量②	1 か所
目標値	結果指標量	8000人	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	備前市次世代育成支援行動計画に基づき、平成21年度には3箇所設置することにより、目標達成に向けて検討していく。	平成21年度	身近に子育て中の親子が集まる場所ができ、情報の提供や相談を受けることができることにより、子育ての不安感や負担感の軽減ができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。